

太宰府中学校 1 学年だより No.28

R3.2.1 (月)

文責：石橋 眞子

どうして笑うんだ？



先日、テレビで素敵なニュースを見たので、皆さんに伝えたいと思って載せました。まずは、読んでみて下さい。皆さんの心にも響くと思います。

「どうして笑うんだ？」 Cロナウドが守ってあげた少年、高校サッカーで日本一に
2021年1月14日

全国高校サッカー選手権で優勝した山梨学院MF岩岡遼太(3年)がいま、約6年半前の「Cロナ神対応」をめくりネットで話題となっている。

2014年7月、健康美容器具のPRで来日したスーパースターに、1万人以上の応募の中から質問の機会を得たのが当時小6の岩岡さんだった。

「本当に現実だったのか、今でも分からなくなる時があります」。通訳付きと分かっていたが「挑戦する気持ちで」ポルトガル語で質問を考え、何度も何度も練習した。

当日、向かい合ったロナウドに「僕の夢はサッカー選手になることです。どうしたらいいかアドバイスを下さい」と震える声で尋ねた。

当然、流暢(りゅうちょう)ではなかったため、報道陣から笑い声が上がった。すると、ロナウドは報道陣に鋭い視線を向け「どうして笑うんだ？彼のポルトガル語は素晴らしいよ」と窘めた。(たしなめる:よくない点に対して注意を与えること)



会場が静まり返る中でロナウドは岩岡さんに向かって「信念を持ち、努力し、チャンスを逃さないことだよ」と助言し、彼の肩を抱いてはげました。

岩岡さんは「後でロナウドさんが『どうして笑うの？』って言ってくれたと知って、なんて優しい人なんだろうって…。すごくうれしかったです」と語った。壇上でサインをもらったTシャツと写真、読み上げたメモは額装して飾っている。



その後、16年にクラブW杯でCロナウドが来日した際に、岩岡さんは「高校選手権に出られる選手になりたいです。その後の目標は…プロです」と語っていた。

憧れの人の影響で、毎日の腕立て伏せは欠かしていない。ロナウドに会ってから、夢は目標に変わった。

そして高3の冬、彼は高校選手権に2試合出場し、見事に日本一をつかみ取ったのだ。

講談社サッカー専門サイト(ゲキサカ)より抜粋

皆さん、読んでどんな気持ちになりましたか。

クリスティアーノ・ロナウドといえば、知る人ぞ知るサッカー界のスーパースターです。サッカーをよく知らない人でも名前は聞いたことがあると思います。

当然、サッカーのプレーは超一流ですが、彼がサッカーだけでなく、人としても超一流であることが、この記事から十分わかったと思います。

きっと彼は、自分の母国語のポルトガル語で一生懸命伝えている岩岡少年の姿に、とても感動したと思います。それと同時に、彼のたどたどしい発音を笑う報道陣の大人たちに強い怒りを感じ、「なぜ笑うんだ？」とビシッとたしなめたのでしょうか。まさに、「神対応」といえる姿ですね。

「一生懸命頑張る人を応援し、それを笑うことは許さない」彼の信念が、サッカーのプレーにも反映されているのでしょうか。だからこそ、人々が彼を高く評価しているのだと思います。

さらに感動したことは、ロナウドさんの言葉に強い感銘と影響を受けた岩岡さんが、人生の目標を見つけて熱心に練習に励み、見事に高校日本一をつかみ取ったことです。

まるで物語のような出来事ですが、かけてもらった言葉ひとつで人生が大きく開花したこの事実には、ただただ驚くばかりです。

コロナ禍で、先の見えない不安な毎日が続き、誰もがつらい思いをしています。ややもすると、自分のつらさを攻撃的な言動で責めがちになるこの状況下、今回のようなロナウドさんの温かい言動と、岩岡さんの姿は、多くの人々の心を勇気づけた事と思います。

このような素敵なニュースに、また会えるといいなと感じました。

(このニュースはYouTubeにもアップされています。よかったら見てみてください)

太宰府中学校に素敵な「動物園」ができました。

皆さんが美術の時間に制作した作品を、白垣先生が図書室に展示してくれました。

多くの人に見てほしいという願いを込めた作品展、名付けて「太中動物園」です。



どの作品も精巧につくられており、今にも動き出しそうな動物たちの可愛らしい姿を見ると、心が温かくなりました。

白垣先生から、作品の見どころを語っていただきました。



素材は、新聞紙・和紙です。まず、新聞紙を手でくしゃくしゃにして柔らかくした後、丸くしたり細長い形を作ったりしながら、動物の形にしました。その後和紙をはり、絵の具で色をつけて仕上げました。

新聞紙で形をつくるのは難しかったと思いますが、それぞれの動物の特徴やしぐさ、表情などよく表しています。ひとつひとつ違って、おもしろいと思いますよ。皆さん、ぜひ一度見に来てください。



ロナウドさんのような「○○さんの作品はすばらしかったよ」という素敵な言葉が、校内のあちこちで飛び交うといいですね。